

8月6日に、東京都お台場にある日本科学未来館に見学に行きました。この「科学コミュニケーター疑似体験講座」は、2日完結型の講座で、自分が担当する展示物の解説を行うのが目的で、その1日目は主に情報収集を行いました。

館内を自由に見学し、2日目に自分が解説を行う展示物を決定しました。その際に、科学コミュニケーターにインタビューをすることで、展示解説を含めた科学コミュニケーションのコツや重要性について学びました。さらに、「50年後、地球温暖化はどうなっている？」というテーマのワークショップに参加しました。3人1チームでそれぞれタブレット端末を用いて、過去のデータを参考に地球温暖化がどのように進行してきたのかを学び、50年後の地球の姿を先進国と発展途上国の視点から議論を行いました。様々な情報から何を読み取るか、そしてそこから何を考えるかは科学にとって非常に重要なことです。生徒は一生懸命取り組み、時間を超過するほどしっかりと議論を行っていました。



